

## 外の世界の話聞かせて

著者名： 江國 香織  
出版社： 集英社

南天文庫には、外とは違う時間が流れている。私設図書館・南天文庫。高校一年生の陽日は、幼い頃からここに通いつづけている。他の子供たちが帰ったあと、運営のあやめさんと話すようになったのはいつからだろう。あやめさんは陽日にときどきこう言う。「外の世界の話を話して」。日々の出来事をあやめさんに伝える一方で、陽日はあやめさんが子供だったころの話を集めてもいる。なんでも、「ピンクの家」と呼ばれたガード下の元公民館に、三組の夫婦と五人の子供たちが身を寄せ合い不法に暮らしていたらしく……

## 八州の風手控え帳

著者名： あさの あつこ  
出版社： 文藝春秋

「八州廻り」と呼ばれる関東取締出役の任に就く若人・一柳直四郎。最も若く新参者で、村役人にもてなしをねだる術にも、宿の値引き交渉にも通じていない。目元の下がった色白の童顔は争いごとを好まぬが、理にかなわないことはもっと好まない。好きなものは、少し塩気のある甘い饅頭とうまいお茶。「揉め事や争いごとは無いがいい。平穏が一番だ」と言いながら村をゆく直四郎のもとへ飛び込んできた一報、それは――「死人が出ました」。林の中の木にぶらさがっていた首吊り死体は、どうやら自死と言いつづけていた……。調べるうち、直四郎は替でその名を轟かす「鶴の銀蔵」の存在に行き当たった。お人好しの若同心×腕利き家人の最強主従《バ

## 新 本所おけら長屋(三)～(四)

著者名： 畠山健二  
出版社： 祥伝社

万造とお満が、累計200万部突破の人気シリーズが、帰ってきた！貧乏けどお節介、情の厚さは天下一。笑い涙の連作時代小説。

あれから三年――本所亀沢町はおけら長屋に、万造とお満が帰ってきた！酒屋奉公人の松吉との再会を喜ぶ間もなく、左官の八五郎、浪人の鉄斎、お染ら馴染みの面々を騒動に巻き込んでゆく。笑い涙の大人気時代小説、第二幕開始！長崎から戻った万造は、相棒の松吉と便利屋《万松屋》を始めた。だが、請けた仕事を軒並み騒動に変えてゆく！“おけら”を読んで、笑福開運！

## 劇場版 名探偵コナン 緋色の弾丸

著者名： 青山剛昌  
出版社： 小学館

劇場版アニメ化、赤井一家、集結の時――！世界最大のスポーツの祭典「WSG」の東京開催を迎えようとしている日本。注目を集める中、スポンサーが集うパーティー会場で突如事件が発生！コナンの推理により、15年前の連続拉致事件との関係性が浮かび上がる。そして事件を監視する赤井秀一の姿が…世界を巻き込む推理アクション、開幕！2021年公開の第24作劇場版『名探偵コナン 緋色の弾丸』のアニメコミックスを1冊にまとめ、新装版として刊行！

## DANGER

著者名： 村山 由佳  
出版社： 新潮社

どん底に墮ちてなお、私は諦めない――痛みを知る者こそがつかめた奇跡とは。世界的振付家・久我一臣にインタビューをすることになった、編集者の水野果耶と記者の長瀬一平。久我の半生を辿りつつ、戦前戦後の日本バレエを紹介するつもりだったが、彼が語る過酷な戦争体験は、二人が思ってもみなかった縁を掘り起こしてゆく。芸術と戦争を通し、過酷な運命に希望を見出す人々に迫った、入魂の輪舞曲（ロンド）。

## 不埒なり利家

著者名： 谷津 矢車  
出版社： 実業之日本社

手筋が見えましてございます――。前田利家が秀吉に仕掛ける「謎かけ遊び」は織田家の命運を賭けた戦だった！前田利家×三法師こと織田信長の孫・織田秀信北野大茶湯で――利家は秀吉秘蔵の茶器をいかにすり替えたのか？賤ヶ岳の戦いで――利家はいつから秀吉に従ったのか？聚楽第で――秀吉に矢を射かけたのは利家なのか？慶長大地震で――利家はいかに明国の使者を地震から守ったのか？

答えられなければ、御家断絶！

## 宙わたる教室

著者名： 伊与原 新  
出版社： 文藝春秋

東京・新宿にある都立高校の定時制。そこにはさまざまな事情を抱えた生徒たちが通っていた。

負のスパイラルから抜け出せない21歳の岳人。子ども時代に学校に通えなかったアンジェラ。起立性調節障害で不登校になり、定時制に進学した佳純。中学を出てすぐ東京で集団就職した70代の長瀬。

「もう一度学校に通いたい」という思いのもとに集った生徒たちは、理科教師の藤竹を顧問として科学部を結成し、学会で発表することを目標に、「火星のクレーター」を再現する実験を始めます。

## 大河の一滴 最終章

著者名： 五木 寛之  
出版社： 幻冬舎

93歳の人間論――。人は何かのために生きるのではない。誰かのために生きるのだ。衝撃のベストセラー『大河の一滴』から30年。圧巻の集大成。常に、再生の希望はある。少年時代の引揚体験、自死への欲求、思いがけない病の宣告……。あえて、大河の流れに逆らうことを決意した、告白的人間論。静寂から立ち上がる、鮮やかな再生の物語。